

戦略1 地域を創る総合型地域スポーツクラブの創設

子どもの運動嫌いやスポーツ機会の減少、部員不足、指導者不在による部活動のあり方、働き盛り・子育て世代の運動不足解消など、市民が健康で笑顔輝くまちを創りあげるため、地域における多様なスポーツ機会の提供、コミュニティーの醸成を支援する新たな組織が必要です。

取組(事業)の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
<p>◇幼少期から小学生期での運動遊び、外遊びプログラムの提供 ⇒幼保小、身体教育医学研究所との連携を図り取組み(通年)</p> <p>◇スポーツ推進委員、地域づくりの会との連携によるスポーツイベントの開催 ⇒年間:2回以上開催</p> <p>◇車いすバスケットボールサークルの結成・運営 ⇒ユニバーサルスポーツ普及促進の起爆剤として活動(通年)</p> <p>◇とうみポッチャオープン大会の企画・開催 ⇒年間:2回以上開催</p> <p>◇公民館・児童館でのポッチャ教室 ⇒5地区において実施(通年)</p> <p>◇各種スポーツクラブ・教室及び中学校運動部活動・ゆるスポクラブへの指導者派遣 ⇒中学校との連携で人材バンク創設により派遣</p> <p>◇企業と連携した働き盛り・子育て世代のスポーツプログラムの提供 ⇒2教室(プログラム)以上実施(通年)</p> <p>◇高齢者向けの健康づくりプログラムの開催 ⇒1つ以上開催(通年)</p>	<p>◇放課後子ども教室の開催</p> <p>◇わくわくスポーツクラブのポッチャイベント</p> <p>◇公民館へのポッチャ道具の貸出</p> <p>◇児童館でポッチャ体験会</p>	<p>◇幼少期から小学生期での運動遊び、外遊びプログラムの提供 ⇒学校、教育課、身体教育医学研究所との連携により放課後「元気塾」を4回開催した。</p> <p>◇スポーツ推進委員、地域づくりの会との連携によるスポーツイベントの開催 ⇒スポーツ推進委員主催の「ボルダリング教室」を開催。地域づくりの会との連携は今後の検討としたい。</p> <p>◇車いすバスケットボールサークルの結成・運営 ⇒東御市にない種目の結成については現在検討中。</p> <p>◇とうみポッチャオープン大会の企画・開催 ⇒新型コロナの影響により大会は開催できなかったが、体験会を8回開催した。大会は来年度開催の方向で検討する。</p> <p>◇公民館・児童館でのポッチャ教室 ⇒新型コロナ禍において活動自粛等もあり実施回数は減少した。</p> <p>◇各種スポーツクラブ・教室及び中学校運動部活動・ゆるスポクラブへの指導者派遣 ⇒新型コロナ禍において休校・授業時短の影響から放課後の時間が取れず開催ができなかったが来年度に開催予定。</p> <p>◇企業と連携した働き盛り・子育て世代のスポーツプログラムの提供 ⇒総合型地域スポーツクラブのプログラムとして検討中。</p> <p>◇高齢者向けの健康づくりプログラムの開催 ⇒総合型地域スポーツクラブのプログラムとして検討中。</p>	<p>B</p>	<p>R 元年度総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げ R3.2 の設立を目指したが、新型コロナの影響により予定していたイベント、周知活動など事業を進める事ができず、R4.2 に設立を1年間見送った。</p> <p>来年度は、設立時の柱となる定期開催教室である「里山体験サークル」「ユニバーサルスポーツクラブ」の開催、クラブのPR活動、会員獲得に向けたイベントの開催のほか、東御市に無く、市民からのニーズがあるスポーツ種目の開拓、指導者の発掘・育成を実施していく。</p>	

Ⅱ スポーツ推進計画前期アクションプラン進捗管理評価シート 戦略別

戦略2 裾野の拡大を目指したスポーツ推進委員の体制強化

スポーツ推進委員へのニーズは高まっており、以前のスポーツを教える、イベントスタッフだけの役割でなく、多様な組織団体との連絡・調整や地域の障がい者スポーツの推進役として、地域におけるスポーツの裾野を広げる活動が期待されています。また、市民、行政、各種団体をつなぐパイプ役として、また、総合型地域スポーツクラブとの連携・協力体制を構築し地域スポーツのコーディネーターとして活動できる体制の強化を図り、多様化するスポーツニーズに応えられる活動組織としての体制強化が求められています。

取組(事業)の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
<p>スポーツ推進委員の体制強化により、次の事項に取組みます。</p> <p>◇体制見直し ⇒専門部制導入</p> <p>◇存在、役割の露出・アピール ⇒認知度の向上</p> <p>◇多様な組織・団体との連絡調整 ⇒支える組織の基盤強化</p> <p>◇総合型地域スポーツクラブ、地域づくりの会との連携・協力体制の構築 ⇒大会・イベント開催への支援</p> <p>(コーディネーター機能) ① ⇒車いすバスケットボールサークルの運営支援(通年) ②</p> <p>⇒とうみポッチャオープン大会の企画・開催への支援 ③</p> <p>⇒公民館・児童館でのポッチャ教室の支援(5地区) ④</p> <p>⇒ゆるスポクラブへの指導者派遣 ⑤</p> <p>⇒高齢者向けの健康づくりプログラム開催の支援 ⑥</p> <p>⇒各種スポーツクラブ・教室への指導者派遣等支援 ⑦</p>	<p>○定例会の実施</p> <p>○スポーツ事業への派遣</p> <p>○上小スポーツ推進委員協会活動</p> <p>○検討・準備</p>	<p>◇体制見直し</p> <p>⇒スポーツ推進のため企画部を導入した。</p> <p>◇存在、役割の露出・アピール</p> <p>⇒自主イベントを開催することで広報及びラジオで周知をしたほか、イベント当日に報道機関を呼ぶことでメディアに露出した。</p> <p>◇多様な組織・団体との連絡調整</p> <p>⇒スポーツ協会の専門部会議へに委員として参加し各団体との調整を図った。</p> <p>◇総合型地域スポーツクラブ、地域づくりの会との連携・協力体制の構築</p> <p>⇒総合型設立準備委員会の委員に3名参加し、イベント企画、運営に参画している ①</p> <p>⇒車いすバスケットボールサークルの運営支援には至っていない ②</p> <p>⇒とうみポッチャオープン大会新型コロナの影響により開催には至らなかった。③</p> <p>⇒派遣依頼のあった公民館へ出向きポッチャ教室の支援を行った。④</p> <p>⇒ゆるスポクラブが発足していないため実施に至らず。⑤</p> <p>⇒介護予防住民指導士養成講座を受講し5名が資格を取得し、現場での活動に役立てている。⑥</p> <p>⇒例年に引き続き各種団体から依頼があった際は講師として派遣し、支援を行った。⑦</p>	<p>B</p>	<p>組織体制の見直しにより、イベント企画・運営などスポーツ推進のため企画部を導入し、スポーツ推進委員主催のイベントを開催することができた。引き続き関係機関との連携・協力体制の構築を図っていく。</p>	

II スポーツ推進計画前期アクションプラン進捗管理評価シート 戦略別

戦略3 地域経済の活性化に向けたスポーツコミッションの創設

湯の丸高原に新たな来訪者や宿泊客を獲得するため、陸上・水泳を中心とした高地トレーニング合宿受入による交流人口の増加、地域への経済波及効果による地方創生に取組みます。立地による強みを活かした積極的な合宿誘致、観光と連動したスポーツ・ツーリズムの実施が知名度の向上、集客増加に必要不可欠です。そのため、陸上施設、プール施設、民間宿泊施設、民間食事提供施設等の関係団体や施設管理者が一体的にスポーツによる地域経済の活性化を図るための全体統制組織が必要です

取組(事業)の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
<p>◇湯の丸高原全体の内部統制機能の構築 ◇円滑なスポーツ合宿の受入と+αのサービス提供 ◇スポーツ・宿泊施設及び食事施設のサービス水準の管理 ◇スポーツツーリズムイベント開催(集客(宿泊)数増加) ◇トップアスリートとの交流イベント開催(集客増加、競技力向上) ◇来訪者・宿泊者の増加に向けた積極的なプロモーション</p>	<p>陸上合宿:6,768泊 水泳合宿:5,204泊</p>	<p>◇湯の丸高原全体の内部統制機能の構築 ⇒関係事業者と連携し、湯の丸高原における、スポーツ合宿、スポーツツーリズムに関する企画調整、プロモーション等を行うコーディネーターの役割を果たし来訪者数の増加と売上げの増加を図るため「とうみ湯の丸高原スポーツコミッション」を設立した。 ◇円滑なスポーツ合宿の受入と+αのサービス提供 ⇒合宿利用のワンストップ窓口の開設と、各施設によるサービス向上に向けた利用者アンケートの実施 ◇スポーツ・宿泊施設及び食事施設のサービス水準の管理 ⇒宿泊施設不足解消のため、宿泊施設の新設を計画。令和3年9月オープン予定。食事施設のサービス水準の管理のため女子栄養大学に食事メニューの監修を依頼しアスリート向けの食事メニューを構築した。 ◇スポーツツーリズムイベント開催(集客(宿泊)数増加) ⇒トップアスリートによる陸上セミナー、高地トレーニング体験セミナー、指導者向け高地トレーニング導入に向けたセミナーを企画したが、新型コロナの影響により中止。 ◇トップアスリートとの交流イベント開催(集客増加、競技力向上) ⇒市民向けにオリンピック、メダリストなどトップアスリートとの交流を企画したが中止となった。競技力向上に向け地元中学生に高地トレーニング体験会を実施した。 ◇来訪者・宿泊者の増加に向けた積極的なプロモーション ⇒新型コロナの影響により首都圏でのプロモーションが困難な状況であり、各種大会に出向いてのPR活動ができなかった。合宿者獲得に向けメディア、SNS等を使ったPR活動、メール、電話等でのPR活動を実施。 ◇令和2年度スポーツ合宿実績(見込) 陸上:3,609泊 水泳:6,100泊</p>	<p>B</p>	<p>令和2年3月に設立した「とうみ湯の丸高原スポーツコミッション」によってスポーツ合宿受入に関し全体統制組織体制が構築された。 令和2年度は新型コロナの影響もあり、前年度を下回る実績となった。 来年度は、9月に新しい宿泊施設もオープンすることから、イベント等の開催、積極的なプロモーション活動を展開し、合宿利用者の増加、地域活性化に繋げていく。</p>	